

「お客様は神様です！」 国民的歌手三波春夫さんの明言は実は プロ歌手に徹する覚悟を語ったものであった！

絢爛豪華な和服姿で笑顔絶やさず、澄み切った声であの名曲「俵屋玄蕃」「世界の国からこんにちは」（もはや知らない方が多いかも）を世に送り届けた三波春夫さんが言った「お客様は神様です」は、お客様サービスの原点として引用されてきました。実はこの言葉は当時有名な漫才トリオが連呼して世間に浸透したともいわれています。この神様は独り歩きしてしまっただけです。

この言葉の真意についてインタビューを受けたとき、三波さんは「歌う時は神前で祈るように雑念を払って、まっさらな澄み切った心でなければ、完璧な芸をお見せることは出来ないと思っています。ですからお客様を神様とみて歌うのです。」と語っていたそうです。また「お客様は、お金を払ってわざわざ来て下さる。失望は落胆を抱かせてしまっては、死ぬほど恥ずかしい。だから

常に最高の状態で歌わなければならぬのです」プロに徹するご本人の覚悟を語ったものであったのです。

カスハラがあちらこちらで聞かれるこの頃ですが、三波さんの語る本当の意味を心に刻み、笑顔でレッスンやクラブ運営に取り組むことがカスハラのみならず、様々なハラスメントを無くす一番の方法かもしれませんね。



※本文は一部、毎日新聞9月夕刊の記事を引用させていただきました。

■気をつけましょう！この季節

スポーツの秋到来！

各種入会キャンペーン実施など、新規会員が増える季節です。

一方で、気温・湿度など気候の変化は日替わり、さらには一日の中でも変化します。

各種怪我やトラブルが混在しやすい季節でもある秋。お客様、スタッフへの注意喚起、予防策を講じましょう。

• 施設チェックを強化しましょう

気温差によるコートの結露、落ち葉など、危険要素を排除しましょう。

転倒事故は骨折などの大きな怪我につながります。

始業時のみならず、営業中の定期チェックも「念入りに」行いましょう。



• 本気の体操を実践しましょう

体操の順番や負荷を見直し、またより効果的な体操に

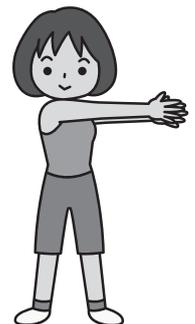
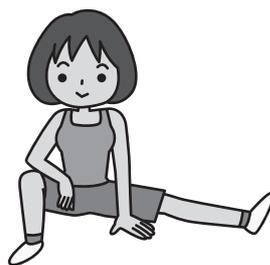
アップデートしましょう。

怪我の多い部位、テニス動作における負荷の大きい部位に効果のある体操であることが重要です。

また、急激なストレッチは肉離れやその要因になってしまうこともあります。

負荷や筋温を徐々に上げていくなどの工夫をしましょう。

体操はデモ担当のコーチだけでなく、全コーチが一緒に実施することで、その重要性がお客様に伝わります。



• 年齢や体力に合った負荷を

お客様の高齢化が続いており、この傾向はさらに加速すると考えられます。

近年は転倒事故も増えており、コーチはお客様をどの程度の負荷で動かすかを見極めも要求されます。

ある年齢以上のお客様の怪我は、「スポーツ人生の終わり」につながりかねません。

怪我の中でも一番多いのはハムストリング（太もも裏の筋肉）や腓腹筋（ふくらはぎ）など下肢の肉離れです。

動き出しの一步目での肉離れを回避するために、休憩中も足を動かすことや、ドリル時の待機からプレーに入る前には、コーチからストレッチを指示することを徹底しましょう。



• スクール生のレベル差対応を

進級者、復帰会員が増える季節です。

コーチは担当クラス内の技術レベルに差がないかチェックをしましょう。

怪我から復帰のお客様には負荷の少ないレベルから様子を見ることをおすすめするのも効果的です。それぞれの体力や事情を把握した上でクラスを回しましょう。



• 新規入会者への対応

新規入会者はドリルにおけるローテーションや順番待ちになれていません。

また、あまりに複雑なローテーションはプレーへの集中度が下がる可能性もあります。

待機場所をコーンなどで分かりやすく示す、自然な流れのローテーションを組むことで、衝突事故などの危険性が少なくなります。

• 調節しやすい服装を

昼夜の寒暖差が大きくなる時期です。

レッスン開始時は肌寒くとも、プレーとともに徐々に体温も上がってきます。

さらには待機休憩時には一気に汗で冷え込むなど、調節が難しい季節でもあります。

重ね着など、体温調節のしやすい服装のアドバイスをしましょう。



怪我=退会であり、コーチの「大丈夫だろう」によって、お客様のスポーツ（人生）の楽しみが失われることもあります。

高齢のお客様はそのまま運動をやめてしまうことも考えられます。

「10年長生きできるスポーツ」は怪我防止とセットであると考え、最大限の怪我防止への対応をしましょう。

